

定例記者懇談会次第

令和5年5月29日(月) 午後1時15分

牧之原市役所榛原庁舎5階 庁議室

1 開 会

2 市長説明

- ◇ 令和5年6月 牧之原市議会定例会 市長提出議案について 資料1
- ◇ 令和5年度 牧之原市一般会計補正予算案の概要について 資料2
- ◇ 令和6年度 新規採用職員募集を若手職員がPRします！ 資料3
- ◇ 女性活躍支援業務（月3万円ビジネスの導入）について 資料4
- ◇ 「まきのはらジュニアズアクションスポーツクラブ」6月の活動について 資料5
- ◇ 令和5年度 市の海水浴場の開設について 資料6
- ◇ 第2回 RIDE ON MAKINOHAR 地場産品活用「勝負メシ」プロジェクトについて 資料7
- ◇ まきチャレ2023（第2回 牧之原チャレンジビジネスコンテスト）の開催について 資料8
- ◇ 移住・定住施策に関する補助制度の改定・拡充について 資料9

3 懇 談

4 閉 会

次回記者懇談会 令和5年6月27日(火) 午後1時15分～

令和5年6月牧之原市議会定例会 市長提出議案について

補正予算 2件 条例改正 1件 その他 6件 (合計 9件)

報告第3号 令和4年度牧之原市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

＜財政課＞

令和4年度牧之原市一般会計第6号及び第11号補正予算で設定した繰越明許費について、令和5年度に繰り越して使用する歳出予算の経費が確定したので、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき報告する。

諮問第1号～第2号 人権擁護委員の候補者の推薦について

＜市民課＞

本年12月で2名の人権擁護委員が任期満了となるため、後任の候補者の推薦について、議会の議決を求める。任期は令和6年1月1日から3箇年となる。

【議決予定日：6月12日】

議案第25号 静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

＜総務課＞

静岡県市町総合事務組合の構成団体に、下田市、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町で構成する南伊豆地域清掃施設組合が新たに加入し、事務を共同処理することに伴い、当該組合の規約の変更を行う。

【議決予定日：6月26日】

議案第26号 牧之原市印鑑条例の一部を改正する条例

＜市民課＞

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、スマートフォンを介した移動端末設備用利用者証明用電子証明書により、多機能端末機による印鑑登録証明書の交付が可能となるよう改正を行う。

【議決予定日：6月26日】

議案第27号 令和5年度牧之原市一般会計補正予算（第3号）

＜財政課＞

令和5年度の3回目の補正予算として編成するもので、補正の主な内容は、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用した低所得世帯及び子育て世帯、福祉施設等への支援金の給付、茶業関係者を支援するための補助金、誘客キャンペーンに係る経費、令和4年度事業に係る給付金事業の国庫支出金の精算金、地域おこし協力隊の起業支援に係る補助金や雇用に係る経費、東沢川地すべり災害復旧工事の経費の計上などとなっている。歳入歳出それぞれ3億7,538万2千円を増額し、補正後の予算総額を231億5,702万6千円とするもの。

【議決予定日：6月26日】

議案第28号 令和5年度牧之原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

＜国保年金課＞

令和5年度の1回目の補正予算として編成するもので、今回の補正予算の内容は、保険料還付金の増額、還付及び還付加算金の増額で歳入歳出それぞれ85万円を増額し、補正後の予算総額を5億7,922万円とするもの。

【議決予定日：6月26日】

議案第29号 牧之原市多目的体育館事務用備品の売買契約について

＜スポーツ推進課＞

令和5年度 市単独事業 牧之原市多目的体育館事務用備品購入について、5月19日に入札を執行し、落札業者を選定したが、予定価格が2,000万円以上となるため、牧之原市議会の議会に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求める。

【議決予定日：6月26日】

議案第30号 牧之原市多目的体育館体育用備品の売買契約について

＜スポーツ推進課＞

令和5年度 市単独事業 牧之原市多目的体育館体育用備品購入について、5月19日に入札を執行し、落札業者を選定したが、予定価格が2,000万円以上となるため、牧之原市議会の議会に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求める。

【議決予定日：6月26日】

【議会日程】

6月	1日（木）	本会議	提案説明、総括質疑
	12日（月）	本会議	通告質疑－委員会付託、一部議案審議－採決
	14日（水）	本会議	一般質問
	15日（木）	本会議	一般質問
	16日（金）	本会議	一般質問
	19日（月）	補正予算連合審査会、委員会	付託議案審査
	26日（月）	本会議	委員長報告－審議－採決

令和 5 年度牧之原市一般会計補正予算案（第 3 号）の概要について

本予算は、令和 5 年度予算の 3 回目の補正である。補正の主な内容は、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用した低所得世帯及び子育て世帯、福祉施設等への支援金の給付、茶業関係者を支援するための補助金、誘客キャンペーンに係る経費、令和 4 年度事業に係る給付金事業の国庫支出金の精算金、地域おこし協力隊の起業支援に係る補助金や雇用に係る経費、東沢川地すべり災害復旧工事の経費の計上などとなっている。

補正額は、375,382 千円、率にして 1.6% の増となった。

1 予算額

補正前予算	22,781,644 千円
補正額	375,382 千円
補正後予算	23,157,026 千円

2 補正予算の概要

(1) 歳入		375,382 千円	
国庫支出金	289,674 千円	災害復旧費、マイナポイント事業費、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金ほか	
県支出金	512 千円	児童入所施設措置費	
繰越金	41,996 千円		
市債	43,200 千円	災害復旧債	
(2) 歳出		375,382 千円	
マイナンバー制度推進事業費	4,574 千円	マイナポイント支援業務	
自治振興費	1,000 千円	地域おこし協力隊起業支援	
住民税非課税世帯等臨時特別給付事業費	6,386 千円	国庫支出金精算金	
価格高騰緊急支援給付事業費	2,614 千円	国庫支出金精算金	
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付事業費	109,176 千円	低所得者世帯に 3 万円給付	
障害者自立支援事業費	2,430 千円	障害者福祉施設等への支援金	
高齢者福祉施設管理費	9,122 千円	高齢者福祉施設等への支援金	
家庭児童相談事業費	2,051 千円	保育措置費に係る経費	
子育て世帯臨時特別給付金(市独自給付分)給付事業費	61,683 千円	子ども 1 人に 1 万円給付	
有機まきのほら推進事業費	1,379 千円	地域おこし協力隊隊員の雇用	
茶業緊急支援事業費	8,671 千円	茶業生産者支援	
観光誘客推進事業費	32,200 千円	誘客キャンペーン	
災害復旧費	130,000 千円	東沢川地すべり災害復旧工事	
その他	4,096 千円	システム改修ほか	

令和6年度 新規採用職員募集

～これで採用試験のすべてが分かる～

定例記者懇談会 資料№3
令和5年5月29日
総務部 総務課
連絡先 0548-23-0051

もくじ

- ・牧之原市ってどんなところ？
- ・観 光
- ・市の取り組み
- ・1年の流れ(研修)
- ・1年を振り返って
- ・令和5年度合格者の声

牧之原市ってどんなところ？



心地よい潮風、広く高い空、あたり一面の大茶園に囲まれて
のんびりとした毎日を過ごすことができる！

陸

心地よい潮風、広く高い空
あたり一面の大茶園に囲まれて
のんびりとした日常を過ごせる

牧之原大茶園

海

一番の魅力は、静波海岸とさがら
サンビーチがあること！ 県内外
から多くのサーファーが集まる

静波海岸

空

東名高速道路、御前崎港、富士山
静岡空港があり陸・海・空のそれ
ぞれの玄関口を持つ

富士山静岡空港

牧之原市には四季折々のイベントが盛りたくさん！

1月

さがらサンビーチ初日の出&初詣

4月

さがら草競馬大会

8月

さがら灯ろう流し

1月

大鐘家「雛のつるし飾り展」

9月

御船神事

5月

秋葉公園のあじさい

6月

静波海岸 海開き

2月

蛭ヶ谷の田遊び

第3次総合計画 まちづくりの理想 将来都市像

重点戦略 プロジェクト

特に力を入れる取り組みとして
5つのプロジェクトを設けます

1. 富士山型ネットワークの充実

沿岸部と高台をそれぞれの立地環境や地域資源の活かした魅力ある拠点づくりと、拠点間の連携による市全体の総合発展を図り、外から人を呼び込み、定住を促進する。

2. ゼロカーボンと経済成長の 好循環の実現

民間企業が行う経済と環境の好循環に向けた取り組みを支援し、持続性のある産業への転換、発展を図る。

3. 日本一女性にやさしいまちの推進

子育てをする母親の目線で、子育て、働き方、保育、幼児教育などのサービスの充実に取り組み、若者世代の流出抑制、定住促進につなげる。

4. DX(デジタル・トランスフォーメーション) の推進

デジタル技術を市民サービスの向上や業務内容の見直し、情報発信などに活用し、効率的で持続可能な行政サービスの提供を図る。

5 次代を切り拓く力を育む 新たな学校づくり

新しい時代の学びに対応した魅力ある教育環境の実現に向けて、体験とオンラインを組み合わせた特色ある場所、小中学校の再編などを進める。

牧之原市の取り組み



榛原庁舎、相良庁舎、さざんかでそれぞれ活躍している先輩に
どのようなお仕事をしているのかお話を聞いてみました！

＊令和4年度1月末インタビュー実施

健康推進課（採用5年目）

デジタル推進課（採用3年目）

学校再編推進室（採用10年目）

①担当課で特に力を入れていることは？

健康推進課では、病気を発症する前の「予防」に力を入れています。

子どもの発達支援や大人の生活習慣病予防、高齢者の介護予防など幅広い年齢が対象になります。

デジタル推進課では、各課が業務を効率的に行えるようにするシステムの導入やAI技術の活用、インターネットで行政手続きが出来るようにするオンライン申請の取組に力を入れています。

市内10校の小中学校を再編し、2つの義務教育学校を整備するために、新しい学校のコンセプトや、具体的な施設の内容、目指す教育の方針等について検討を行っています。

②仕事のやりがいとは？

保健師の仕事は、人々の病気の予防やそれに関する啓発活動がメインになります。対象者が納得して生活習慣を改善できた際は、将来を守ることができたと大きな達成感を感じます。



初めてスマホを持つ高齢の方のサポートや、マイナポイントの申請など一人だと操作が難しい方の補助をしています。

操作方法の説明を通して勉強になることもあり、人の役にたてた時にやりがいを感じています。



未来の子どもたちが通いたいと言ってくれるような新しい学校をつくるために、日々、頑張っています。



令和4年度新規採用職員研修～1年の流れ～



4月中旬	新規採用職員研修
5月上旬	呈茶研修
5月中旬～下旬	新規採用職員研修（静岡県）
5月中旬	先輩職員から学ぼう・原子力発電所見学
9月	環境保全センター体験研修
10月中旬	部長から学ぼう
10月下旬	フォローアップ研修（菊川市・御前崎市合同）
11月中旬	新規採用職員研修（静岡県）

充実した1年になりそう♪



盛りだくさん！

入庁して1年を振り返って

令和4年度新規採用職員がこの1年を振り返ってみました！



みんなが一番感じていたこと

- ◇研修が充実している。他市町の職員とも交流がもてる
- ◇庁舎が3つあって、それぞれ雰囲気が違う
- ◇配属場所によって同期に会う機会が少なくなるので、横のつながりを大切にされた方が良い
- ◇1年目から様々な仕事を経験できる
- ◇他職員とのコミュニケーションが大事
- ◇配属先によって繁忙期が異なる

入庁して1年を振り返って

所属別でも聞いてみました！



窓口業務が多い課

- ◇お客さんの視線があるため、常に緊張感を持っている
- ◇間違った情報を伝えないよう責任感を持ちながら業務している
- ◇「ありがとう」や「あなたに接客してもらえてうれしい」と言われると頑張る力になる

外部との連携が多い課

- ◇課の人との連携が一番大切だと感じる
- ◇市内観光地だけでなく、他市町や他県に行くことが多い
- ◇市内の事業者と深くかかわるため、色々な人と会話ができて知見が広がる
- ◇1日現場にでる事がある
- ◇急な対応が多々あるので、報連相が大切
- ◇街中で自分の発注した工事を見ると嬉しくなる

令和5年度採用 合格者の声



採用試験を受けようか迷っている方が一番知りたい合格体験記を紹介します！

◇採用フロー

1次 筆記試験
(SPI・小論文)



2次 集団面接
(2回)



3次 個人面接
(1回)



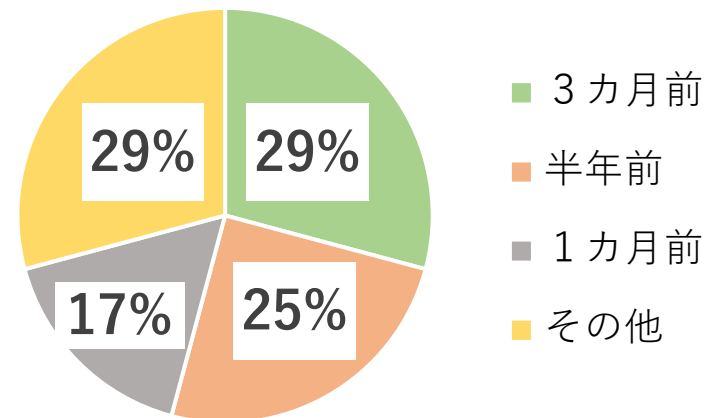
令和5年度採用 合格者の声



令和5年度新規採用職員にアンケートを実施しました！

1：いつ筆記試験対策を始めましたか？

牧之原市の筆記試験は、SPIを実施しています！
そのためか、右のグラフを見ると約半数の人が直前期に始めているようです



2：筆記試験対策はどんな対策をどれくらいしましたか？

◇SPI対策のテキストで1日1～2時間勉強した

◇本屋で買った公務員対策テキストを3周し、基礎的な学習と量をこなした（社会人）

→学校での公務員試験対策講座参加者は少数派！筆記試験はSPI対策だけで十分かも！？

3：小論文対策はどんな対策をどれくらいしましたか？

◇週1回小論文対策のテキストで学習した

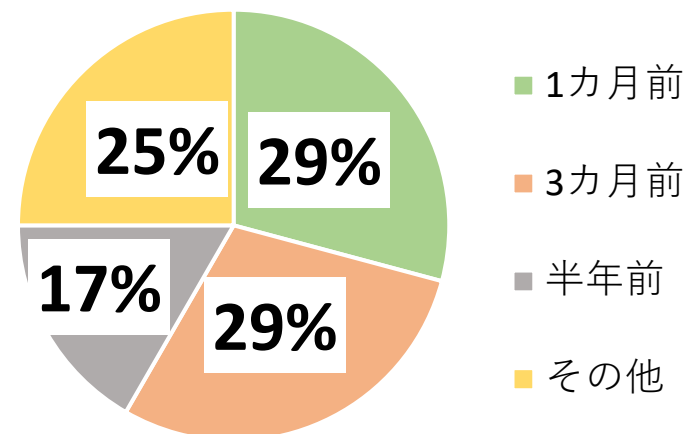
◇学校の小論文対策講座を受講し、書いた小論文を先生に添削してもらった（新卒）

◇3日間テキストで学習し、市の政策やホームページを確認した（社会人）

→小論文もテキストでの対策をした人が多数！心配な人は対策講座に参加しよう！

4：面接対策はいつから始めましたか？

右のグラフを見ると、面接は1～3カ月前から対策をした人が多数！頻度は週2回程の方が多
いです。焦らず少しずつ準備をしよう！



5：面接対策はどのような対策が役立ちましたか？

◇学校での模擬面接や、先生やキャリアアドバイザーさんにサポートしてもらった。

◇YouTubeで面接対策の動画や、インターネットで定番質問を調べた。

◇鏡の前で話したり録音して客観的にどう映るのか考えた。

→実践的な練習をした人が多い模様！場数を踏んで本番で緊張せずに伝えられるようにしよう！

6：集団面接では何を聞かれましたか？

- ★1分で自己PR
- ・自分の長所
- ・志望動機
- ・学生時代努力したことは
- ・牧之原市の良い点悪い点
- ★牧之原市のHPを見て気付いたこと
- ・なぜ牧之原市を選んだか
- ★自分と合わない人とどう付き合っていくか
- ・ボランティア経験はあるか。

7：個人面接では何を聞かれましたか？

- ・志望動機 ・希望する部署 ★牧之原の魅力 ・若者の流出についてどう考えるか
- ★牧之原市の1番の課題は何だと思うか ・なぜ地元ではなく牧之原市を選んだか
- ・働く上でモチベーションとなること、下げることは何か ・アルバイト経験と得たこと
- ・前職は何をしていて、その経験が牧之原市にどう役立てられるか 自己分析が大事
- ・なぜ民間から公務員を目指したか

8：筆記試験と面接試験の手ごたえはどうでしたか？

◇SPIの言語は解けたが、非言語は解けない問題もあった、小論文は事前に何回も書いていたの
で、対策の中で書いたことなどを元にしっかりと書くことができた。（新卒 一般事務）

◇SPIは全体的にあまり自信がなかったので、5.6割程しか解けなかったと思う。小論文のテーマが
練習したテーマに類似していたため、すらすら書けた。（新卒 一般事務）

◇緊張して1分PRの時間を過ぎてしまったり、言いたいことを上手く伝えられなかったりして、手ごたえ
はありませんでしたが面接官の方々が優しく聞いてくださいました。（新卒 一般事務）

対策のスタートが遅く
なってしまう焦りや
試験に向けて準備してください。
筆記試験が上手くいかなくても
諦めずこの後の試験に臨めば
必ず取り返せます。がんばってください。

商工観光課
若村

採用試験の際には
自己分析、挨拶、笑顔を
大切に、ありのままの自分を表現
することをオススメします！
牧之原市を盛り上げたい熱い想いを
胸に頑張ってください。☺
ご健闘をお祈りしております。
明るい未来を一緒に
作っていきましょう！
市民課 藤原

筆記や面接の
対策をや、自分なりに
自信に繋がります。
自分の力を精一杯
出せるよう頑張って
ください。

建設課 岸高

試験では
「絶対大丈夫」と自信を
持て臨み、いつも通り
問題を解いてください。
心から応援しています！

総務課 米山

皆さんとお会いできる日を 職員一同楽しみにしています

たくさんの選抜肢が
あるなかで牧之原市を選んで
くれて嬉しく思います。
京大職活動でハコむこともあるかと
思います。自分と向きあうタイムが
くらいに思えば負いずにはいてくださ
み。みなさんのことを応援しています。

健康推進課 加藤

試験では、
落ちついて自分の魅力を
最大限に伝えることができる
よう、がんばってください！
応援しています！

市民課 只井

試験で100%の力を
出しきれよう、がんばって
ください！

皆さんと一緒に働く日を
心待ちにしています。
応援しています！！

社会福祉課 佐藤

就職活動中のみなさんへ
筆記試験や面接対策など
とても大変だとは思いますが、
緊張しすぎず、落ち着いて
頑張ってください！！
みなさんを応援しています！
情報交流課 道野

編集 令和4年度新規採用職員

女性活躍支援業務（月3万円ビジネスの導入）について

（企画政策部秘書政策課）

1 概要

- ・「月3万円ビジネス」は、女性が趣味や特技を活かし、仲間と協力して月3万円稼ぐビジネスを複数実施し、希望する働き方と子育て、収入確保を両立させる事業モデル
- ・埼玉県草加市では、7年間で100件以上の事業が創出され、ほぼ全てが継続している。
⇒女性の働き方や消費意識、暮らしに関するサービスの充実などに繋がる事業モデル

2 位置付け

- ・第3次総合計画前期基本計画 重点戦略・プロジェクト
「日本一女性にやさしいまちの推進」の実施計画事業として実施

- ・子育てをする母親目線での子育て、働き方、保育・幼児教育などのサービスの充実
- ・女性が趣味や特技を活かし、子育てとやりたい事を両立できる働き方や暮らし方の創出

3 今年度の実施プログラム

- (1)委託先 choinaca 合同会社（草加市等で実績ある事業者）
(2)受講者定員 12名
(3)プログラム わたしたちの月3万円ビジネス in 牧之原
～やりたかったことは、今やれることに変えられる～

年度	会場	各段階
5月下旬 ～7月6日	—	受講者募集（連続講座・体験WS）
6月23日（金）	榛原文化センター 3F 会議室	体験ワークショップ 「3ビズとは、プログラムの一部実践」
7月11日	—	受講案内発送
7月20日（木）	静波コミュニティ 防災センター	第1回「ドリームマップで自分発見」
8月10日（木）	同上	第2回「ビジネスアイデアを生み出そう」
9月5日（火）	同上	第3回「月3万円ビジネスモデルをつくろう」
10月6日（金）	さざんか 2F 会議室	第4回「地域でリサーチ 3ビズプレゼン大会」
10月10日	（オンライン）	個別面談
10月25日（水）	榛原文化センター 3F 会議室	第5回「ビジネスの魅力を伝えよう」
11月22日	（オンライン）	最終相談
12月17日（日）	未定	第6回「地域でビジネス実践」
1月上旬	（オンライン）	フォロー面談

令和5年度は、女性による新たなビジネスの創出や「女性の仕事づくり」のネットワーク拡大の実現を目標とする。数年後には、牧之原市に合った独自の仕組みとして、地域の人材を中心に、ビジネスの実践・継続ができるよう事業を進めていく。

まずは無料体験ワークショップにご参加ください！

連続講座の開催に先立ち、無料体験ワークショップを開催します。講座の内容や魅力をお伝えするとともに、実際の講座の雰囲気を感じいただけます。お電話にて事前予約の上、お気軽にご参加ください！

日 時：6月23日（金）10:00～12:30

対 象：6回連続講座の受講を検討している女性の方

定 員：40名（事前予約制）

会 場：榛原文化センター 3階大会議室 牧之原市静波1024-3

参加費：無料



月3万円ビジネス講師
矢口真紀
(choinaca合同会社代表)

ちょっと田舎で「小さく楽しい自立のかたち」を提案する『choinaca（ちょいなか）』です。本講座では8年間で300名の女性の仕事づくりをサポートしてきました。自分と地域を幸せにする新しい働き方の全国プラットフォーム『わたしごとJAPAN』、仕事づくり拠点『ひとつ屋根の下』など、仕事づくりを起点にまちを元気にするアクションを展開中。

申込み方法

① 無料体験ワークショップ 6月23日（金）

申込方法：お電話または右記QRコードからインターネット経由でお申し込みください。

申込締切：6月20日（火）

（電話の場合：月～金／9:00～17:00）



② 6回連続講座 7月20日（木）スタート

申込方法：下記の申込書をご記入の上、このページを複製または切り取って郵送かFAXでお申し込みください。または右記QRコードを読み取り、申込フォームでの申し込みも可能です。

申込締切：7月6日（木）郵送の場合は必着



牧之原市秘書政策課 〒421-0495 牧之原市静波447-1 TEL 0548-23-0052 FAX 0548-23-0059

参加申込書「わたしたちの月3万円ビジネス6回連続講座」

ふりがな	受講したいと思った理由を教えてください。
名前	
生年月日	
住所 〒	
TEL	
E-mail	あなたの得意なこと・好きなことは何ですか？
職業	本講座で学びたいことは何ですか？
託児の希望 ※費用は利用者負担となります	講座受講後の夢は何ですか？
本講座の広報活動等に使用する 写真・動画撮影にご協力いただけますか？	

主催：牧之原市 運営：choinaca合同会社
デザイン：新藤岳史 イラスト：伊藤はるか

わたしたちの月3万円
ビジネスホームページ ▶ www.sanbiz.jp



月3万円ビジネス



まずは無料体験ワークショップへ！

2023年6月23日（金）10:00～12:30 ▶ 6回連続講座

7月20日（木）スタート



月3万円ビジネスを生み出して実践する全6回の連続講座です。

ドリームマップをつかって自分のワクワクを発見し、

仲間とのセッションを通して商品やサービスを生み出し、

ビジネスの魅力を地域みなさんに伝える発信力を学びます。

最終回は、地域のイベントでお店をかまえて、いざ月3万円ビジネスデビュー！

たのしく学び、具体的なアクションに落とし込む、実践プログラムです。

無料体験ワークショップ

2023年6月23日（金）10:00～12:30 会場：榛原文化センター 3階大会議室 牧之原市静波1024-3

6回連続講座

第1回

ドリームマップで 自分大発見！

7月20日（木）10:00～17:00

静波コミュニティ防災センター

写真や雑誌の切り抜きを使って「ドリームマップ」を制作。3年後の夢を描きながら、自分がやりたいこと、今踏み出せる一歩を発見します。



第4回

地域でリサーチ！ 3ビズプレゼン大会

10月6日（金）10:30～15:30

総合健康福祉センターさざんか

地域で活躍する方々にビジネスモデルを発表し、感想をいただきます。ビジネスを実現に近づける情報や知恵を収集できるまたとないチャンスです！



第2回

ビジネスアイデアを生み出そう

8月10日（木）10:30～15:30

静波コミュニティ防災センター

お互いの夢を応援するために仲間で知恵を出しあって、魅力的なビジネスアイデアを生み出すグループセッションを実施します。まずは商品性を高めましょう！



第5回

ビジネスの魅力を伝えよう

10月25日（水）10:30～15:30

榛原文化センター

商品やサービスの魅力を伝え、口コミを生み出す秘訣やディスプレイの実践レクチャー。ビジネスを地域で展開するための発信力を身につけます。



第3回

月3万円ビジネスモデルをつくらう

9月5日（火）10:30～15:30

静波コミュニティ防災センター

アイデアを具体化して月に3万円稼ぐビジネスモデルをつくりまします。ターゲット、経費、料金設定、宣伝や販売の方法など、知恵を出し合いブラッシュアップ！



最終回

地域イベントでビジネス実践！

12月17日（日）11:00～15:00

牧之原市内

地域のイベントでお店を出して、月3万円ビジネスを実践します。

※日程は変更になる場合があります。



修了生の月3万円ビジネス



candle fuu.

北原智恵子さん

東京から埼玉の地元に家族でリターンしました。つまらない町に帰ってきたと後悔していた育休中に3ビズに出会いました。出産前に夢中だったキャンドルへの情熱が復活し、灯して吹き消すだけで日常が特別になるキャンドルで町をたのしくしたいと活動しています。3ビズの仲間たちに力を借りて、空き地や公園で夢だったキャンドルナイトも開催！今では毎日がワクワクの連続で、暮らす町が大好きになりました。



+Healthyおやつ時間

中田亜希子さん

栄養計算が大好きな私。娘が苦手な食材を毎日食べるおやつで補えたらいいなと、栄養をプラスしたオリジナルのお菓子を商品化して、イベントやシェアキッチンで提供しています。3ビズで一人では到底たどりつけないところへ導いてもらいました。家族もだんだんと理解し、講座最終回では家族みんなで出店を応援してくれたんですよ。3ビズは、分野は違えど助けあえる仲間ができ、好きが仕事につながる希望の持てる講座です！



めまがみビレッジ

斉藤広美さん

農家の嫁です。義父が亡くなって畑仕事に挑戦することになり、働いていた障がい者施設の子と一緒に農作業をし、人間も動物も自分らしくいられる場所をつくりたいと思いました。そんな時に3ビズを受講し、失敗を恐れずに小さくやってみる大切さを学びました。今は農体験やワークショップを通し、土に触れ命について考える場を開いています。まだまだですが、目指している場所が一步步形になっている実感があります。



放課後駄菓子屋ふさや

穴戸ゆみさん

私の3ビズは「学区外の小学校へ通う息子の下校問題」がきっかけで生まれました。地域の商店の軒先をお借りして、平日の夕方だけ駄菓子屋を開きながら息子の帰りを待つのです。子どもだけでなく高校生や高齢者も立ち寄ってくれて、お店側にも喜ばれ、いろんな場所に呼ばれるようになりました。3ビズを受講で、息子の世話という超個人的な問題も、アイデア次第でビジネスになり、地域貢献につながることを実感しています。



6回連続講座 開催概要

対象：全6回のプログラムに参加できる女性の方

※単発受講の受付はしていません。 ※講座と講座の間に小グループでのミーティングや個別面談を実施します。

募集定員：12名

申込み多数の場合には定員の範囲内で総合的に判断し、受講生を決定させていただく場合があります。この結果、今回受講ができなかった方には、改めて次回以降の予定が決まり次第ご案内します。

会場：第1回～第3回：静波コミュニティ防災センター 〒421-0422 牧之原市静波2130-5

第4回：総合健康福祉センターさざんか 2階会議室1・2 〒421-0422 牧之原市静波991-1

第5回：榛原文化センター 3階大会議室 〒421-0422 牧之原市静波1024-3

最終回：牧之原市内

教材諸経費：全6回 15,000円

申込方法：裏面をお読みいただき、申込書をご記入の上、郵送、FAX、インターネット経由の申込フォームいずれかでお申し込みください。

申込先：牧之原市秘書政策課 TEL 0548-23-0052 / 〒421-0495 牧之原市静波447-1 / FAX 0548-23-0059

申込締切：7月6日（木）必着

お問い合わせ：牧之原市秘書政策課『わたしたちの月3万円ビジネス』事務局 TEL 0548-23-0052

「まきのはらジュニアズアクションスポーツクラブ」6月の活動について

(企画政策部 情報交流課)

このクラブは、2020 東京五輪ホストタウンのレガシー創出や継承事業として、本年3月に設立し、市内外の小中学生を対象とし、サーフィンやスケートボード、ボルダーなど、いわゆるアクションスポーツを通年で体験する全国でも例の少ないスポーツ組織である。

なお、6月中におけるクラブ活動は、下記のとおりである。

1 6月の活動内容

第1回 サーフィン体験会

- (1) 開催日 6月17日(土) 午前8時30分～午前11時30分
- (2) 会場 静波海岸
- (3) 対象者 クラブ受講生
- (4) 指導者 市内サーフィン及びライフセービング関係者
- (5) 日程 08:45 ビーチクリーン活動
09:00 ライフセービング活動(海の安全等について)
講師：ライフセービングクラブ関係者
10:10 サーフ体験
講師：サーフ関係者
11:30 終了

※天候等により、日程変更の場合あり。



紫陽花 Lei づくり体験会

- (1) 概要 カリッサ・ムーア選手やジョン・ジョン・フローレンス選手など、2020 東京事前合宿で牧之原市を訪れた USA サーフィンチームに贈った紫陽花の Lei。今後も USA スポーツチーム等の関係者の来日が見込まれることから、オリジナルの Lei づくりを体験する。
- (2) 開催日 6月18日(日) 午前10時～正午
- (3) 会場 榛原文化センター3階 大会議室
- (4) 対象者 クラブ受講生
- (5) 指導者 牧之原市花の会の皆さま
- (6) 日程 10:00 Lei づくり
 - ① 紫陽花を一口サイズに裂く
 - ② 紫陽花を水につける
 - ③ 編み方の説明
 - ④ 編み始める12:00 終了



2 その他

7月以降の活動については、随時、情報提供する。

令和5年度 牧之原市の海水浴場の開設について

1 海水浴場の開設について

本年度も、来場されるみなさんの安心安全を確保し、海水浴場を開設します。
本年度の海水浴場開設日程が決定されましたのでお知らせします。

開設期間	静波海水浴場 7月14日（金）～8月31日（木） さがらサンビーチ 7月14日（金）～8月31日（木）
駐車場整理料金 徴収期間	静波海水浴場 7月15日（土）～8月20日（日） さがらサンビーチ 7月22日（土）～8月20日（日）
駐車場整理料金 （軽・普通自動車）	静波海水浴場 800円 さがらサンビーチ 600円 ※牧之原市民の方は、運転免許証（市内住所が記載されていること。）を駐車場整理料金徴収員（整理員）に提示していただくと、 駐車場整理料金が無料になります。
海の家営業	静波海水浴場 4軒 さがらサンビーチ 1軒（1軒休業）

- ※ 期間中はライフセーバーが常駐しています。（午前8時30分～午後5時まで）
- ※ 料金徴収期間以外は駐車場整理料金は掛かりません。
- ※ 料金徴収期間中の徴収時間は、午前7時から午後3時までです。
- ※ 令和4年4月に策定した「海水浴場等における新型コロナウイルス感染の感染防止対策ガイドライン」は適用しない。

参考

①令和4年の来客集

静波海水浴場 102,000 人 さがらサンビーチ 25,000 人 合計 127,000 人
令和元年

静波海水浴場 142,000 人 さがらサンビーチ 55,000 人 合計 197,000 人

②海水浴場等における新型コロナウイルス感染の感染防止対策ガイドライン

- ・過去2週間以内の体調不良者、海外から帰国・入国者ならびに、新型コロナウイルス感染症に関わる健康観察対象者、自宅療養中の方は来場を控えること。
- ・移動制限が発令されている地域からは来訪は自粛すること。
- ・海水浴場へ行く前に体温測定、健康チェックすること。
- ・ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ・グループの人たちと対面でなく横並びで座ること。
- ・海水浴場が閉まった後は、速やかに帰宅すること。
- ・海水浴場の近隣住民に感染を拡げないよう、ごみは持ち帰ること。
- ・手洗いは30秒程度かけて、水とせっけんで丁寧に洗うこと。

第2回 RIDE ON MAKINOHARA 地場産品活用 「勝負メシ」プロジェクトについて

(産業経済部 商工観光課)

1 趣旨

地元を元気にするため「地域の食材を食べて、勝負に勝つ」というメッセージを込め、牧之原市商工会と協力して「勝負メシ」プロジェクトを展開する。市内の飲食業者などから地元の食材を活かした自慢のメニューを募集して、パンフレットを作成する。

また、市内で予定されている将棋タイトル戦のメニューとして提供し、市内外に牧之原市の「食」の魅力を紹介する。

2 「勝負メシ」の要件

- ・ 牧之原市産の食材（農水産物など）を一つ以上使用すること。
- ・ 店舗の通常メニューとして提供すること。
- ・ ランチ部門、スイーツ部門それぞれ募集する。
- ・ 1店舗あたり各部門1点まで応募可能。
- ・ 専用応募フォームもしくは書面でのエントリーとする。
- ・ 既に販売している自慢のメニュー、または新開発メニューどちらでも可。

3 事業者の要件

市内に事業所を有し、製造に必要な許認可を得ていること。

4 みんなの推しメニュー投票

- ・ ログフォームを利用し、「みんなの推しメニュー」に投票を実施する。
- ・ 結果上位はランキング形式で発表する。
- ・ 推したいメニューに投票してもらい、投票の際には実際に食べた感想や、「見た目がきれい」「食べてみたい」「人におすすめしたい」など推しコメントをつけてもらう。

5 発表会

- ・ 投票集計後に「勝負メシ」発表会を行う。
日時：令和5年8月17日（木） 14：00～（予定）
会場：さざんか ホール

6 スケジュール

6月12日～6月23日	参加店・メニュー募集
6月27日	定例記者懇談会でメニュー紹介
6月28日～7月31日	推しメニュー投票期間
7月中旬	中間結果発表
8月17日	発表会(さざんか)
8月下旬～	パンフレット発行、将棋イベントなどでのPR

7 その他

募集の詳細、メニューの応募は下記のURLから。

<https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/soshiki/23/49841.html>

まきチャレ 2023

(第2回 牧之原チャレンジビジネスコンテスト)を開催します

(産業経済部商工観光課)

1 事業概要

牧之原市の地域資源を活用したビジネスプランを募集するビジネスコンテスト、まきチャレ 2023 (第2回牧之原チャレンジビジネスコンテスト) を昨年に引き続き今年も開催します。

昨年は国内外から約100件のエントリーがありました。

応募されたビジネスプランについて書類審査、クローズドピッチ審査を行い、ファイナリストを決定します。最終審査となるオープンピッチ審査はオンラインでの公開審査となります。

優秀者に対する表彰式は牧之原市内で開催し、全国へWeb中継されます。

2 事業内容

(1) コンテスト概要

- ・ 募集対象は、全国のベンチャー企業をはじめとする革新的なアイデアを持つ事業者（市内事業者を含む。）
- ・ 牧之原市の地域資源（市内の商工業・農林水産業などの産業資源、または海などの観光資源）を活かしたビジネスプラン、または牧之原市内の事業者とのコラボによるビジネスプランを提案してください。
- ・ 応募されたプランに対して、牧之原の地域資源との親和性、地域貢献性、新規性・競争優位性、マーケットの規模と成長性、ビジネスモデルの優位性、事業リスクなどを総合的に評価します。

(2) 賞金

大賞 100万円、準大賞 30万円

このほか、市長特別賞、協賛企業特別賞なども用意。視聴者投票による視聴者賞も予定しています。

3 今後の予定

6月1日～8月15日	参加企業エントリー受付
8月1日～8月31日	書類審査
9月上旬	セミファイナリスト発表
	オープンピッチ審査の視聴者募集開始
10月上旬	クローズドピッチ審査会（オンライン）
	ファイナリスト発表
10月17日	オープンピッチ審査会（オンライン）
10月27日	表彰式(全国中継(Web)予定)



まきチャレ2023

第2回牧之原市チャレンジビジネスコンテスト
Makinohara Challenge Business Contests 2023

募集期間

令和5年6月1日(木)～8月15日(火)

表彰 //////////////////////////////////////



特別賞・視聴者賞 3万円～10万円

応募方法 //////////////////////////////////////

下記より申し込んでください。



ランディングページ



応募フォーム

牧之原市は豊かな自然環境や歴史を中心とした観光資源、また多様な農業、漁業、商工業などの産業資源に恵まれた地域です。

この地域資源を活用した新たなビジネスプランを募集する、牧之原市チャレンジビジネスコンテストを今年も開催します。

昨年の第1回には国内外から社ものエントリーがあり、特に優秀と認められたビジネスプランについては、牧之原市内で実際に事業化するべく活動しています。

第2回の「まきチャレ」開催にあたり、前回以上の革新的かつ地域資源を活用したビジネスプランをお待ちしております。

お問い合わせ //////////////////////////////////////

牧之原市産業経済部商工観光課
〒421-0592 牧之原市相良275番地
電話: 0548-53-2647 FAX: 0548-52-3772
e-mail: sangyo@city.makinohara.shizuoka.jp

運営事務局
株式会社 CFスタートアップス
〒155-0036 東京都渋谷区南平台町15-10 MAC渋谷ビル8F
電話: 03-3527-3334 / FAX: 03-3527-3366
e-mail: info@campfire-startups.co.jp



ごあいさつ

まきチャレは、牧之原市内の地域資源を活かし、市内事業者とコラボレーションするビジネスプランを全国から募る画期的なイベントです。初開催となった昨年の第1回では、海外からの10社を含む約100社からエントリーがあり、ビジネスコンテストとしては全国的にも、非常に大規模なイベントとなりました。

ファイナリストに選ばれた10社については現在7社が牧之原市内での事業化に向けて活動しており、特に大賞を受賞したウクライナ企業のSlab(エスラボ)社は、市内での操業に向けて今年度日本法人の設立を予定しています。

今年は「まきチャレ2023」として、昨年以上に多くの素晴らしいビジネスプランが集まるように、更にパワーアップして開催します。

牧之原市は、日本有数の産地であるお茶や野菜、果実など様々な農業が盛んなほか、国内有数の工場が立地しており、工業出荷額は1兆円に上ります。

また、15kmに及ぶ海岸線を有し、サーフィンをはじめとするマリンスポーツのメッカであるほか、新鮮な海産物も地域の大きな魅力となっています。牧之原台地に目を向けると地平線まで茶畑が広がり、その先には富士山静岡空港から世界に窓が開いています。

人口4万3千人の地方都市ですが牧之原市の豊かな地域資源は新しいビジネスにつながる無限の可能性を持っています。

「まきチャレ2023」では全世界から牧之原市の地域資源を活用した意欲あるビジネスプランを募集します。

応募企業にとっては、賞金もさることながら、地域企業とコラボすることで事業拡大につながるチャンスとなる一方で市内企業にとっても、新しいアイデアで世界に挑むチャンスとなります。「まきチャレ2023」では牧之原市とともに世界に挑戦する意欲ある事業者の挑戦をお待ちします。

ともに牧之原市の未来を創りましょう！

牧之原市長 杉本基久雄

審査員

COMING SOON

コンテスト概要

- ・牧之原市の「産業資源」「観光資源」を活用して、自らの事業を地域と共に発展させるビジネスプランを全国から募集。
- ・書類審査でセミファイナリスト20社をセレクト
- ・クローズドピッチ審査※により10社のファイナリストをセレクト
- ・ファイナリスト10社がオープンピッチ審査※でプレゼン
- ・書類審査、クローズドピッチ審査、オープンピッチ審査を通じて、ファイナリストの中から大賞1社、準大賞1社を決定。このほか、市長特別賞、協賛企業特別賞、金融機関特別賞なども用意。視聴者投票による視聴者賞も用意。
- ・賞金は大賞100万円、準大賞30万円。各特別賞・視聴者賞は3万円～10万円を贈呈。
- ・評価のポイントは、牧之原の経営資源・観光資源との親和性、地域貢献性、新規性・競争優位性、マーケットの規模と成長性、ビジネスモデルの優位性、事業リスク
- ・「産業資源」とは、牧之原市で事業を行っている企業（生産農家等の第一次産業を含む）そのもの。牧之原の個々の事業者の特徴を広く伝えて、牧之原で事業活動をする具体的な企業とのコラボ（製品やサービス、技術、顧客構造等の活用、共同事業化等）によって、相互の事業を伸ばすビジネスプランを全国のスタートアップ企業から広く募集
- ・「観光資源」とは、牧之原市のもつ観光要素そのもの。観光スポットのほか、ウェーブプールなどの特徴ある施設、空港や高速道路等の交通インフラ、ホテル旅館、飲食店等の観光資源の特徴を広く伝えて、牧之原の観光資源を活用、あるいは観光の発展に寄与しつつ、自らの事業を伸ばすビジネスプランを全国のスタートアップ企業から広く募集
- ・審査においては、地域産業又は地域観光との親和性、地域社会への貢献性、事業の革新性・競争優位性、マーケットの規模と成長性、ビジネスモデルの収益性・持続性、経営チーム等を評価

スケジュール

6/1～8/15	8/16～9/15	9/20	9/21～10/8	10/10	10/17	10/27
参加企業 エントリー 受付期間	書類審査	セミ ファイナリスト 発表	クローズド・ピッチ 審査会 (オンライン)	ファイナリスト 発表	オープン・ピッチ 審査会 (オンライン)	表彰式 (全国中継)



牧之原市チャレンジビジネスコンテスト（まきチャレ 2023） 協賛参加及び応募のお願い

このたび牧之原市では、産業及び観光の活性化とスタートアップ支援並びに誘致を併せて実現することを目的としたイベント「第2回牧之原市チャレンジビジネスコンテスト」（愛称：まきチャレ 2023）を昨年に引き続き、開催することとなりました。

まきチャレは牧之原市の事業者と協業（コラボレーション）によって、事業を発展させるビジネスプランを、市内及び全国、世界のスタートアップから募る、画期的なイベントです。昨年の第1回まきチャレには、91社（うち海外10社）の応募が集まりました。大賞を受賞したウクライナのS.Lab社ほか、ファイナリスト10社のうち7社が市内農家や製茶業者をはじめ漁業、商工業、飲食サービス業、介護事業等、様々な事業者との協業プランによって市内進出を予定する等、大きな成果となりました。

市内事業者の皆様にとっては、「協賛参加企業」として手を挙げていただくことにより、全国・全世界のスタートアップとのコラボレーションで新規事業を生み出し発展させることができる可能性があります。また市内の中小企業にとっては、スタートアップ※として市内の有力企業と協業するビジネスプランを考えて応募することを通じて、市内有力企業へのビジネスの提案が可能です。ビジネスプランが審査で評価され、入賞すれば賞金も獲得できますが、入賞できなくても、提案先企業に提案が採用されれば、その仕事を通じて事業を拡大できるチャンスがあります。

※ スタートアップとは、創業期の企業のほか、老舗企業の二代目経営者による第二創業や、新設子会社、新規事業など、成長を志す中小企業は全て対象となります。

皆様に置かれましては、本イベントの意義にご賛同賜り、是非とも「協賛参加企業」としてのご参加、あるいはスタートアップとして応募いただきたくお願いいたします。

本イベントでは、書類審査で20社のセミファイナリストを選定。セミファイナリストから10社をクロードピッチ審査で選定。そして10社が全国・全世界に向けてオンラインでプレゼンテーションを行うオープンピッチ審査会に出場します。

オープンピッチ審査会では、杉本市長を含む審査員により審査が行われ、最終的に「まきチャレ大賞」、「まきチャレ準大賞」のほか、市長特別賞その他の特別賞が選ばれます。大賞の賞金は100万円、準大賞は30万円、その他の特別賞は5万円～10万円ですが、この賞金は、皆様からの協賛金により賄われます是非、多くのスタートアップから高いモチベーションでビジネスプランを応募いただけるよう、多くの皆様に、できるだけ多くのご協賛へのご協力を賜りたく存じます。

お申込みは裏面のQRコードまたは別紙「協賛参加申込書」をFAXでご送付ください。

令和5年5月10日

牧之原市チャレンジビジネスコンテスト
運営委員長 出縄 良人（公認会計士）

事務局 株式会社 CF スタートアップ
TEL 03-3527-3334 FAX 03-3527-3366
e-mail : info@campfire-startups.co.jp

協賛参加企業としてのお申込み



<https://form.run/@MakiChalle2023-AA>

スタートアップとしてのエントリー



<https://form.run/@MakiChalle2023-BB>

宛先：まきチャレ運営事務局

FAX 03-3527-3366 または

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 15-10 MAC 渋谷ビル8階
株式会社 CF スタートアップス内
e-mail: info@campfire-startups.co.jp

まきチャレ 2023 協賛参加申込書

当社（私）は、まきチャレ（牧之原市チャレンジビジネスコンテスト）開催の趣旨に賛同し、以下のとおり、申し込みます。

住 所	〒		
会 社 名			
代 表 者 お役職/氏名	印		
電 話 番 号		FAX番号	
e-mailアドレス			

※個人でお申し込みの場合は、会社名欄を空白にして、代表者欄にお名前をご記入ください。

年 月 日

- ☐ 協賛参加企業として、スタートアップから当社と協業するビジネスプランを募集し、まきチャレのWEBサイトに「ビジネスプラン募集企業」として掲載を希望します。（協賛金は100万円、50万円、20万円、10万円、5万円 のいずれかよりご選択ください。協賛企業の特典については裏面をご参照ください。）

協 賛 金							円
				0	0	0	0

（協賛金振込先口座）
三井住友銀行 日本橋支店
普通預金 8257690
カ）シーエフスタートアップス

- ☐ 「スタートアップ」として、応募します。（ビジネスプランは、まきチャレのWEBサイトのエントリーシートに記載または添付により提出します。）

(協賛企業の特典)

協賛名	協賛額	特典
特別協賛 A	協賛金100万円	特設WEBサイトに企業情報を掲載。ポスター・チラシにて「超特大」協賛広告、自社サイトとリンク、協賛企業特別賞(最大10万円)単独提供
特別協賛 B	協賛金 50万円	特設WEBサイトに企業情報を掲載。ポスター・チラシにて「特大」協賛広告、自社サイトとリンク、協賛企業特別賞(最大5万円)単独提供
一般協賛	協賛金 20万円	特設WEBサイトに企業情報を掲載。ポスター・チラシにて協賛広告(大) 協賛企業特別賞共同提供
一般協賛	協賛金 10万円	特設WEBサイトに企業情報を掲載。ポスター・チラシにて協賛広告(中)
一般協賛	協賛金 5万円	特設WEBサイに企業情報を掲載。ポスター・チラシにて協賛広告(小)

※協賛金は、受賞賞金（大賞、準大賞協賛企業特別賞を含む）及び受賞後の支援費用等に充当します。

移住・定住施策に関する補助制度の改定・拡充について

(建設部 都市住宅課)

1 主要な改定

(1) 空き家活用リフォーム等補助金

移住希望者が希望する戸建て賃貸物件の確保のため、「空き家活用事業者等対象リフォーム補助＝移住者限定賃貸物件の整備」メニューを追加（移住者限定賃貸物件に対する補助としては県内初）。

(2) 子育て家族定住奨励金

加算額のウェイトを高め、子育て家族、移住者に手厚い内容に改定。

- ・子ども加算 1人目 10万円、2人目 20万円、3人目 30万円
- ・転入加算 30万円

(3) 移住・就業支援金

「子ども加算」を大幅増額。子ども加算 1人 100万円、最大 300万円

2 改定の目的

昨今、若者や子育て世代の市外への流出や男女の未婚率の増加により、当市の出生数が急速に減少していることから、市では子育て世代などの移住・定住を促進し地域の活性化を図るため、移住・定住に関する各種支援制度を実施している。

「子どもや家族と暮らす場所」として牧之原市が選ばれるため、令和5年度から、「子育て世代」や「移住者」に重点的に支援するため、支援制度の改定・拡充を行う。

3 補助制度の概要

(1) 空き家活用リフォーム等補助金 R5当初予算額 2,450千円

空き家のリフォームを行う場合、対象経費の一部に補助金を交付する。

令和5年度から、移住者が希望する戸建て賃貸住宅の確保、市場育成及び活性化を図るため、空き家の所有者等に向けた補助「空き家活用事業者等対象リフォーム補助」を追加する。また、「移住者対象リフォーム補助」と子育て家族定住奨励金と併用可（※）とする。

【空き家活用リフォーム等補助金：補助メニュー】

対象者	対象経費	補助額
①移住者	空き家バンク登録物件を購入又は賃貸した移住者がリフォーム工事をする場合の経費	対象経費の1/2以内 上限30万円
②空き家活用事業者等	空き家を「移住者限定賃貸物件」として10年間空き家バンクに登録することを条件に空き家の所有者等がリフォーム工事をする場合の経費	対象経費の1/2以内 上限100万円
①・②	リフォーム工事の対象となる場合で、空き家の残置物処理を行う場合の経費	対象経費の実額 上限5万円

(2) 子育て家族定住奨励金 R5 年度 予算額 49,500 千円

40 歳未満の夫婦又は中学生以下の子どもがいる世帯が住宅を新築または購入した場合、奨励金を交付する。令和 5 年度から、以下のとおり、市外からの転入と子育て世帯に手厚い内容に改定・拡充する。また、空き家活用リフォーム等補助金の移住者対象リフォーム補助と併用可(※)とする。

【子育て家族定住奨励金の制度改正の比較】

名称	条件	R 4 年度	R 5 年度
基礎額	奨励金の対象	20 万円	10 万円
子ども加算	中学生以下の子	1 人当たり 10 万円	1 人目 10 万円 2 人目 20 万円 3 人目 30 万円
転入加算	転入前 3 年以上市外に住み、転入した世帯	10 万円	30 万円
空き家バンク加算	牧之原市空き家バンク登録物件を購入	—	10 万円
土地加算	土地を購入	10 万円	
市内業者加算	市内業者にて新築、新築建売を購入	10 万円	

(3) 移住・就業支援金 R5 当初予算額 8,000 千円

東京 23 区内の在住者または東京圏在住で 23 区内への通勤者が市内に移住し、静岡県が選定した中小企業等に就職した場合に支援金を交付する(単身 60 万、複数世帯 100 万円)。18 歳未満の子どもを帯同した世帯に適用される子ども加算(30 万円/人)を、令和 5 年度から、子ども一人当たり 100 万円(最大 300 万円)の加算に拡充。

4 支援制度を活用した場合の事例

(例 1) 子育て家族定住奨励金を活用する事例

市外からの転入、子ども 3 人、空き家バンク登録物件を購入した世帯の場合

● 基礎額+子ども加算(3 人)+転入加算+土地加算+空き家バンク加算

→ 10 万円+60 万円+30 万円+10 万円+10 万円=**120 万円の奨励金**

(例 2) 移住・定住に関する支援制度を全て活用する事例

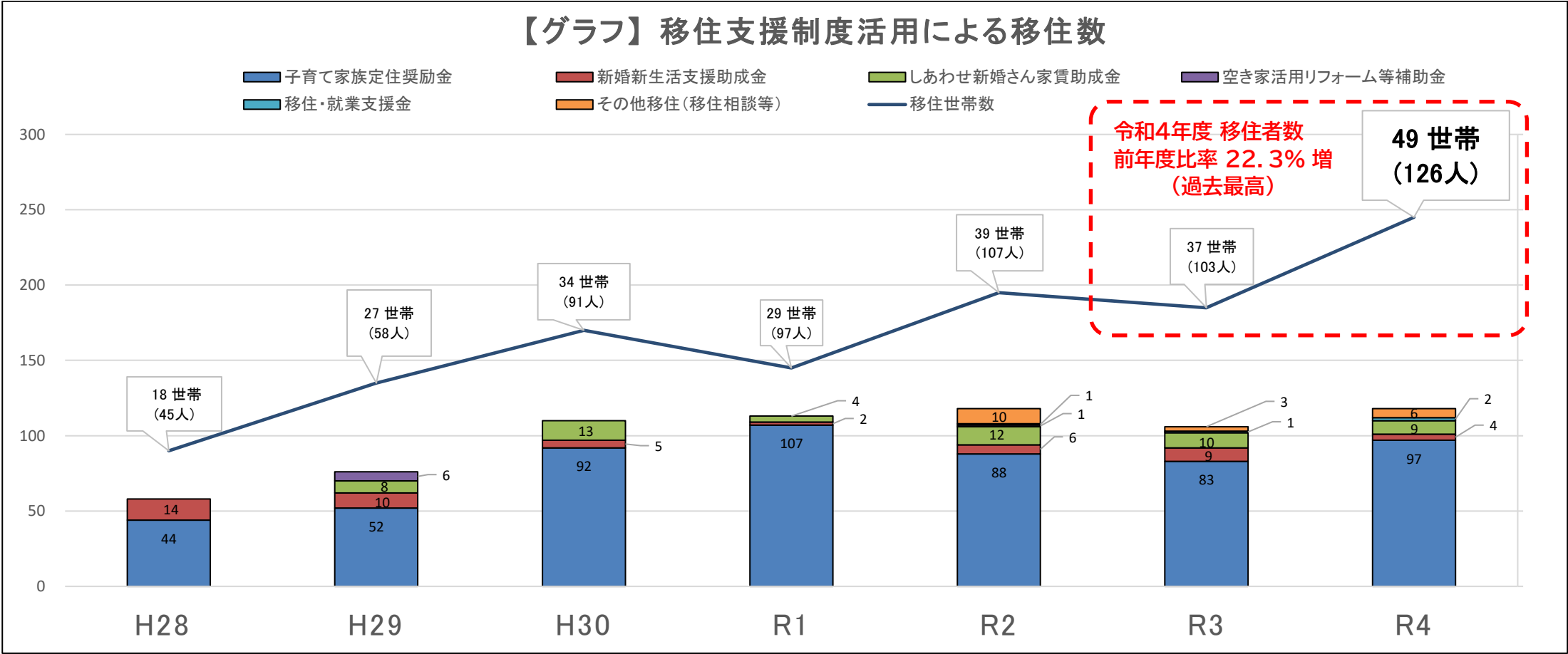
東京 23 区からの転入、子ども 3 人で、空き家バンクに登録された空き家を購入して移住し、リフォーム工事を行った場合

● 子育て家族定住奨励金 120 万円+空き家活用リフォーム等補助金 30 万円

+移住・就業支援金 400 万円=**総額 550 万円の奨励金等**

※各種支援制度を併用する場合は、対象経費が重複しないことが条件

資料9 移住・定住施策に関する補助制度の改定・拡充について(別紙)



【表】移住支援制度の実績数

支援制度名	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			総合計 H28～R4		
	件数	転入者数	転入世帯数	件数	転入者数	転入世帯数	件数	転入者数	転入世帯数	件数	転入者数	転入世帯数	件数	転入者数	転入世帯数	件数	転入者数	転入世帯数	件数	転入者数	転入世帯数	件数	転入者数	転入世帯数
子育て家族定住奨励金	44	30	8	52	29	9	92	76	24	107	89	26	88	79	24	83	86	26	97	98	34	563	487	151
新婚新生活支援助成金	14	15	10	10	9	7	5	3	2	2	0	0	6	0	0	9	5	3	4	3	2	50	35	24
しあわせ新婚さん家賃助成金	—	—	—	8	7	5	13	12	8	4	8	3	12	8	3	10	6	4	9	6	5	56	47	28
空き家活用リフォーム等補助金	0	0	0	6	13	6	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	7	14	7
移住・就業支援金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	9	2	4	11	4
その他移住(移住相談等)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	18	10	3	5	3	6	10	6	19	33	19
年度合計	58	45	18	76	58	27	110	91	34	113	97	29	118	107	39	106	103	37	118	126	49	699	627	233

～空き家で叶える、理想の田舎暮らし～

牧 之 原 市

空き家活用リフォーム等補助金

移住・定住のために空き家を活用する場合に、リフォーム工事や残置物の処理の費用の一部を補助します。



BEFORE



AFTER

○ 補助メニュー

(1) 移住者対象リフォーム補助

空き家・空き地バンクに登録された物件を購入・賃貸して移住をする方※注1がリフォーム工事を行う場合

対象経費の2分の1以内で**最大30万円**を補助

(2) 空き家活用事業者等対象リフォーム補助

空き家の所有者また所有者から委任を受けた方が、空き家を「移住者限定賃貸物件」として空き家・空き地バンクに登録することを条件にリフォーム工事を行う場合

対象経費の2分の1以内で**最大100万円**※注2を補助

(3) 残置物処理補助

リフォーム補助の対象となる方が、空き家の残置物を処理する場合

対象経費の実費で**最大5万円**を補助

※注1 市内に移住する方:物件の購入または賃貸を契機に市外から空き家へ住所を移した方(3年前までの間に市内へ住所を置いたことがある者を除く。)

※注2 通常は70万円上限、市内事業者が施工の場合は100万円上限となります。

○ お問い合わせ先

牧之原市役所 建設部 都市住宅課
電話:0548-53-2633

★交付の条件などは、裏面をご覧ください。

○ 交付の要件

★ 次の項目を確認、回答欄の[はい・いいえ]はいずれかに○印をしてください。

★ 回答欄で「いいえ」がある場合は、交付対象外となります。

交付要件の確認		回答欄
共通	・リフォーム工事等の契約前の申請である。	はい ・ いいえ
	・リフォーム補助は、居住部分に係るリフォーム工事である。	はい ・ いいえ
	・申請する補助対象経費が、その他の補助金の交付対象経費に含まれていない(重複していない)。	はい ・ いいえ
	・市税等の滞納がない。	はい ・ いいえ
	・申請者は、暴力団員又は暴力団員と密接な関係を有するものでない。	はい ・ いいえ
(1) 移住者対象リフォーム補助	・補助対象空き家は、空き家・空き地バンクに登録された物件である。	はい ・ いいえ
	・補助対象空き家の引渡日から1年以内である。	はい ・ いいえ
	・申請者は、市外から補助対象空き家へ住所を移した移住者(3年前までの間に市内へ住所を置いたことがある者を除く。)である。	はい ・ いいえ
	・申請者は、補助対象空き家に5年間居住する。	はい ・ いいえ
	・申請者は、補助対象空き家の所有者と生計を一にしている者又は補助対象空き家の所有者と3親等以内の者ではない。	はい ・ いいえ
	・経費の総額が、5万円以上である。	はい ・ いいえ
	・賃貸の場合は、空き家の所有者から同意を得られている。	はい ・ いいえ
(2) 空き家活用事業者等対象リフォーム補助	・補助対象空き家は、リフォーム工事後に10年間、移住者限定賃貸物件として空き家・空き地バンクに登録することを確約する。	はい ・ いいえ
	・建物状況調査(インスペクション)を受け、要修繕となった箇所を修繕する工事である。	はい ・ いいえ
	・経費の総額が、100万円以上である。	はい ・ いいえ
	・所有者以外の場合は、空き家の所有者から同意を得られている。	はい ・ いいえ
(3) 残置物処理補助	・上記(1)(2)リフォーム補助の対象である。	はい ・ いいえ
	・賃貸または所有者以外の場合は、空き家等の所有者から同意を得られている。	はい ・ いいえ

○ 申請の手続き

交付申請書(様式第1号)に、次の各補助メニューに応じた書類を添えて牧之原市都市住宅課にご提出ください。

(1) 移住者対象リフォーム補助

- ア リフォーム工事に係る費用の明細書及び見積書の写し
- イ 施工予定箇所の写真
- ウ 補助対象空き家の売買契約書又は賃貸借契約書の写し
- エ 賃貸借の場合は、同意書(様式第2号)

(2) 空き家活用事業者等対象リフォーム補助

- ア 建物状況調査結果報告書の写し
- イ リフォーム工事に係る費用の明細書及び見積書の写し
- ウ 施工予定箇所を記した平面図
- エ 施工予定箇所の写真
- オ 所有者以外の場合又は所有者が別にある場合は、同意書(様式第2号)
- カ 土地及び建物の全部事項証明書

(3) 残置物処理補助

- ア 撤去及び処分に係る費用の明細書並びに見積書の写し
- イ 撤去及び処分を要する居住部分の室内の写真
- ウ 補助対象空き家の売買契約書又は賃貸借契約書の写し
- エ 賃貸者、所有者以外又は所有者が別にある場合は、同意書(様式第2号)

＼牧之原市で家を購入する方／



例えば中学生以下のお子様が3人いて、市外から転入された場合

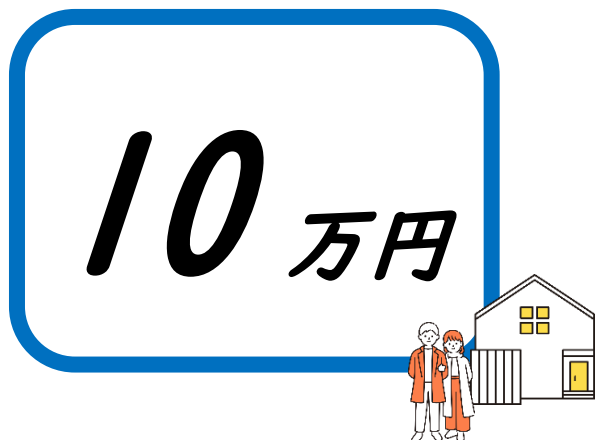
100万円 の補助金が支給されます！※

【牧之原市子育て家族定住奨励金】

【お問合せ先 牧之原市役所 相良庁舎 2F 建設部 都市住宅課 電話 0548-53-2633】

牧之原市子育て家族定住奨励金

基本要件を満たせば



+

追加項目の要件を満たせば



補助金対象

①住宅を取得して、補助金申請日時点で中学生以下のお子様がいる方

又は、引渡日の属する年度の4月1日時点で40歳未満のご夫婦。

②引渡日から2カ月以内の申請であること。

③右側チェックリストの基礎額要件に全てあてはまること。

加算内容

子ども加算	中学生以下の子1人目 10万円、2人目 20万円、3人目 30万円 4人目以降は一律 10万円	60万円 3人の場合
転入加算	転入前3年以上市外に住み 直近2年以内又は引渡後に転入した世帯	30万円
土地加算	土地の購入	10万円
市内業者加算	市内業者にて新築、新築建売を購入	10万円
空き家バンク加算	牧之原市空き家バンクに登録された物件を購入	10万円

※条件の詳細については、右側チェックリストの加算額要件をご覧ください。

Uターンも対象!!

テレワークも対象!!



首都圏から牧之原市に移住し、
所定の条件を満たした方に

100万円

18歳未満の世帯員を
帯同する場合
1人につき

100万円を加算!!
(最大300万円)

\\ 単身の場合は**60万円** //

牧之原市では、東京23区の在住者または東京圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)在住で23区への通勤者が、牧之原市に移住し、静岡県が選定した中小企業等に就職するなど、条件を満たした場合に、支援金を支給しています。

私は対象になりますか？

まずは牧之原市
都市住宅課までお気軽に
お問い合わせください
☎0548-53-2633

詳しくはこちら！



牧之原市の移住・定住支援情報は、
市の特設サイトでご案内しています。
<https://www.makinohara.city.shizuoka.jp/site/makinohara-life>

移住・就業支援金の対象

次の **1・2・3** の**すべてに該当する方が対象**となります。

通算5年以上(①と②の合算もOK)

1

移住元

①東京23区に在住、または②東京23区内への通勤者

対象となる在住者・通勤者の詳細は？

次のア、イの**いずれにも**該当する方が対象です。



ア 移住する直前の10年間のうち、通算5年以上、「23区内に在住」または「東京圏に在住し、23区内へ通勤していた方」

イ 移住する直前に、連続して1年以上、「23区内に在住」または、「東京圏に在住し、23区内へ通勤していた方」

※東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県(条件不利地域は除きます)

2

移住先

牧之原市への移住者

移住とは？

住民票を牧之原市に異動し、生活の本拠を牧之原市に移すことをいいます。



いつ移住しても対象になるの？

- 以下のとおり、期間等に要件があります。
- 支援金の申請時に移住後3か月以上1年以内であること。
 - 牧之原市に、支援金申請後5年以上継続して居住する意思があること。

3

就業
その他

次のいずれかに該当すること

①対象求人への就職

マッチングサイトに掲載の対象求人に応募する。

サイトは
こちら▶



②テレワーク

自らの意思(転勤、職務命令等でない)で、首都圏の企業に在籍したまま、テレワーク移住し、移住元での業務を継続する。

③専門人材

プロフェッショナル人材事業または先導的人材マッチング事業を利用して就業する。

④関係人口

牧之原市が独自に設けた要件を満たし、市への強い関心や関りを持っている。

申請方法

確認項目が多岐に渡るため、移住・就業前に、担当課へご相談を願います。また、予算に達し次第、受付を終了しますので、お早めにお問い合わせください。

牧之原市 都市住宅課

〒421-0592 牧之原市相良275

☎0548-53-2633

※ご来庁の際はご予約をお願いします。